

■No.: FC-08

■分類:規格関連

Q

クラス1配管のソケット溶接部に対して疲労解析をする場合、設計建設規格の PPB-3533 または PPB-3536 で規定されている繰返しピーク応力強さの算定に使用する応力係数の定め方を教えてください。

参照 QNo.: FC-03

A

原子力機器のソケット継手の応力評価においては、すみ肉溶接部に対する応力係数が適用される。

クラス 1 配管のソケット溶接部の応力係数については、日本機械学会 設計・建設規格⁽¹⁾の PPB-3810 の規定に従い、表 PPB-3812.1-1 の(c)直管と管との周継手のすみ肉溶接部に対する応力係数を用いる。

[参考文献]

(1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第 I 編 軽水炉規格, JSME S NC1, 日本機械学会, (2012).